

追悼企画

天才子役、演技派、冒険家

女優・和泉雅子



2026
2.28^土
—
3.13^金

神保町  シアター

1 悪太郎

監督=鈴木清順 | 原作=今東光



1963(S38)・日活・白黒・1時間35分・脚本=笠原良三・撮影=峰重義・音楽=奥村一・美術=木村威夫
出演=山内賢、和泉雅子、田代みどり、小園蓉子、久里千春、東恵美子、佐野浅夫

❖時は大正初期。問題ばかり起こすので「悪太郎」とあだ名がついた学生の強烈な青春を描いた文芸ドラマ。和泉は情熱的なヒロインを好演。

5 非行少女

監督=浦山桐郎 | 原作=森山啓 | 三郎と若枝



1963(S38)・日活・白黒・1時間54分・脚本=石堂淑朗、浦山桐郎・撮影=高村倉太郎・音楽=黛敏郎・美術=中村公彦
出演=和泉雅子、浜田光夫、浜村純、香月美奈子、小池朝雄、高原駿雄、北林谷栄

❖貧困と孤独を抱えた少女の凄まじい青春を綴った社会派ドラマの傑作。当時16歳の和泉の演技は高く評価され、モスクワ国際映画祭金賞を受賞した。

7 終りなき生命を

監督=吉田憲二 | 原作=小畑須美子



1967(S42)・日活・白黒・1時間30分・脚本=宮内婦貴子、吉田憲二・撮影=壺田真佐久・音楽=真鍋理一・美術=横尾嘉良
出演=和泉雅子、山内賢、福田公子、山田輝二、岡田英次、望月優子

❖ある日突然半身不随となった若い女性の実話を基に描かれた感動篇。絶望の淵をさまようヒロイン役・和泉の気迫のこもった熱演に涙を禁じ得ない。

2 おゆきさん

◆デジタル上映

監督=鍛冶昇 | 原作=塩田良平「おゆき」



1966(S41)・日活・白黒・1時間20分・脚本=倉本聰・撮影=藤岡泰信・音楽=池田正義・美術=木村威夫
出演=和泉雅子、笠智衆、松尾嘉代、小夜福子、新克利、松山省二、平田大三郎

❖ある大学教授宅の家政婦になった娘・おゆき(和泉)の成長を描く。不幸な言い立ちながら健気で明るいヒロインは、まさに和泉のはまり役。

3 私は泣かない

◆デジタル上映

監督=吉田憲二



1966(S41)・日活・白黒・1時間31分・脚本=吉田憲二、石森史郎・撮影=壺田真佐久・音楽=小杉太一郎・美術=川原三三
出演=和泉雅子、山内賢、芦川いづみ、太田雅子(梶芽衣子)、市川久伸、北村和夫

❖少年院から出て更生の道を歩む少女(和泉)が、小児麻痺の少年との交流を通して成長していく姿を描いた感動篇。和泉の体当たりの熱演が胸を打つ。

4 青春の海

石坂洋次郎 | 監督=西村昭五郎 | 原作=「サルと空気銃」



1966(S41)・日活・カラー・1時間29分・脚本=三木克己・撮影=壺田真佐久・音楽=黛敏郎・美術=横尾嘉良
出演=吉永小百合、渡哲也、和泉雅子、川地民夫、和田浩治、山内賢、笠智衆

❖東京から左遷されてきた熱血教師(吉永)が小さな漁師町で騒動を起こす一。すれ違ふ姉妹の愛と葛藤を吉永・和泉が息もひびつりに演じ切った。

6 絶唱

監督=西河克己 | 原作=大江賢次



1966(S41)・日活・カラー・1時間38分・構成=八住利雄・脚本=西河克己・撮影=高村倉太郎・音楽=池田正義・美術=佐谷龍雄
出演=舟木一夫、和泉雅子、太田雅子(梶芽衣子)、初井言栄、志村喬

❖スター歌手・舟木主演の大ヒット作で、大地主の息子・山番の娘の許されぬ恋を描いた文芸大作。ヒロイン・和泉の愛らしさに感涙必至。

8 朝霧

監督=吉田憲二



1968(S43)・日活・白黒・1時間36分・脚本=堀江喜一郎、柏倉敏之、吉田憲二・撮影=横山実・音楽=小杉太一郎・美術=坂口武支
出演=和泉雅子、杉良太郎、八千草薫、宇野重吉、太田雅子(梶芽衣子)

❖母(八千草)と二人支え合って生きてきた娘(和泉)が、母の秘めた思いを知り。複雑な境遇で育った少女の成長を描いた文芸ドラマの秀作。

一九六〇年代、石原裕次郎や小林旭が一世を風靡し全盛期を迎えていた日活で、アイドル的人気を誇ったスター女優・和泉雅子(いずみまさこ)を特集します。

和泉は、一九四七年東京・銀座に生まれ十歳から子役として活動し、六二年に十四歳で日活入社。吉永小百合・松原智恵子とともに「日活三人娘」として売り出され、瞬く間にスターの仲間入りを果たしました。数多くの青春映画への主演で人気を集める中、六三年公開『非行少女』での演技は国内外で高く評価され、和泉の代表作となりました。また和泉は、八九年に日本人女性として初めて北極点到達を果たし、女優でありながら冒険家としても歴史にその名を刻むという偉業を成し遂げました。

今回は、日活時代の輝かしいフィルムグラフィの中、代表作はもちろんのこと、彼女ならではの魅力でもあるその純朴さと愛らしさを存分に発揮した名作の数々を上映し、その女優人生を振り返ります。

2026年2月28日(土)~3月13日(金)・13日間

「◆=デジタル上映」マークのない作品は、全て35mmフィルムでの上映となります。

各回完全入替制

土日祝 平日	11:00 12:00	13:15 14:15	15:30 16:30	17:45 19:15	終映時刻 ↓
2月28日[土]	1・悪太郎	2・おゆきさん	3・私は泣かない◆	4・青春の海	19:14
3月1日[日]	2・おゆきさん◆	3・私は泣かない◆	4・青春の海	1・悪太郎	19:20
3月2日[月]	3・私は泣かない◆	4・青春の海	1・悪太郎	2・おゆきさん◆	20:35
3月3日[火]		〈設備点検のため休館します〉			
3月4日[水]	1・悪太郎	2・おゆきさん◆	3・私は泣かない◆	4・青春の海	20:44
3月5日[木]	4・青春の海	1・悪太郎	2・おゆきさん◆	3・私は泣かない◆	20:46
3月6日[金]	2・おゆきさん◆	3・私は泣かない◆	4・青春の海	1・悪太郎	20:50
3月7日[土]	5・非行少女	6・絶唱(13:20)	7・終りなき生命を◆	8・朝霧	19:21
3月8日[日]	6・絶唱	7・終りなき生命を◆	8・朝霧	5・非行少女	19:39
3月9日[月]	7・終りなき生命を◆	8・朝霧	5・非行少女	6・絶唱	20:53
3月10日[火]	8・朝霧	5・非行少女	6・絶唱(16:40)	7・終りなき生命を◆	20:45
3月11日[水]	5・非行少女	6・絶唱(14:20)	7・終りなき生命を◆	8・朝霧	20:51
3月12日[木]	8・朝霧	5・非行少女	6・絶唱(16:40)	7・終りなき生命を◆	20:45
3月13日[金]	6・絶唱	7・終りなき生命を◆	8・朝霧	5・非行少女	21:09

★作品名末尾の()内の数字は上映開始時刻です。()の無いものは日程表の上の通常時刻の上映開始となります。★一部の作品に画・音の不良箇所がありますことを予めご了承ください。

当日入場料金 一般¥1400/シニア¥1200/学生¥1000
各種割引=水曜サービスデー・夕暮れ割(平日3回目のみ)・
誕生日割(要身分証提示)=一般/シニア¥1100

有料入場5回で
1回無料の、お得な
ポイントカードサービス
実施中!

●自由席定員制(99席) ●整理番号制 ●各回完全入替制

●1階チケット売り場にて整理番号付き入場券を販売いたします。(当日のみ。販売開始:土日祝10:00、平日11:00) ●開場は各回10分前を予定しております。●上映開始後10分を過ぎたご入場はお断りします。●混雑状況によってはご入場いただけない場合がございます。●販売後の変更、取り消しはできません。

小学館グループ

神保町シアター
JINBOCHO THEATER

地下鉄神保町駅A7出口3分/JR御茶・水駅御茶・水橋出口8分

Tel.03-5281-5132 https://www.shogakukan.co.jp/jinbocho-theater/



(千代田区神田神保町1-23)